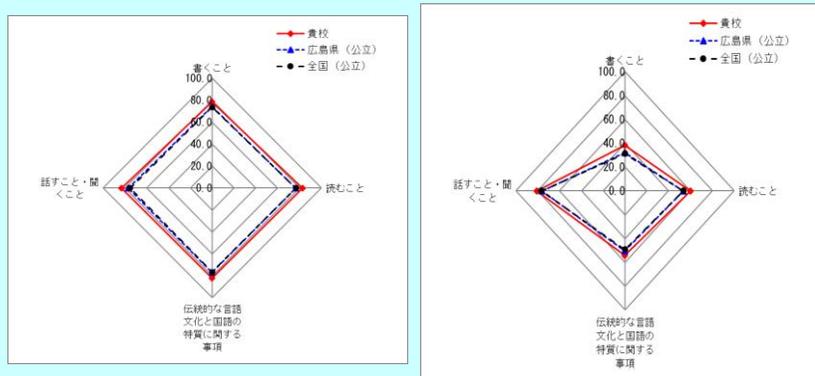


「全国学力・学習状況調査 本年度通過率 A (本校 82%, 県 76%, 全国 76.1%)
B (本校 67%, 県 61%, 全国 61.2%)

領域別平均通過率



本年度の結果について

国語の結果において、A問題の平均正答率は82%、B問題の平均正答率は67%となっている。A問題、B問題のいずれについても、県平均・全国平均と比較してほぼ6ポイントのプラスであり、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられる。しかし、B問題については7割を超えることができておらず、知識を活用して答える問題には、いまだ課題が残っているといえる。

経年課題として、「根拠を明確にし、条件にしたがって書くこと」が挙げられるが、特に「読んで得た情報を根拠として活かし、自分の考えを相手に伝わるように書くこと」に課題があると考えられる。

重点課題 ◇全国学力・学習状況調査

【A問題】

伝えたい事柄が相手にわかりやすく伝わるように書くことに課題がある。
(2)の二)

【意見1】と【意見2】の両方の内容を適切に取り入れて一文で書くことに課題がある生徒が30.6%いる。(正答率63.9%)

【B問題】

相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことに課題がある。
(3)の三)

主語の取り間違えから内容を正確に把握できていなかったり、話の展開を取り上げないまま自分の考えを書いていた生徒が43.1%いる。(正答率54.2%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【A問題】

- 指定した書き出しの言葉に続くように文章を書く練習をさせる。
- 複数の内容を1つにまとめる練習を行う。

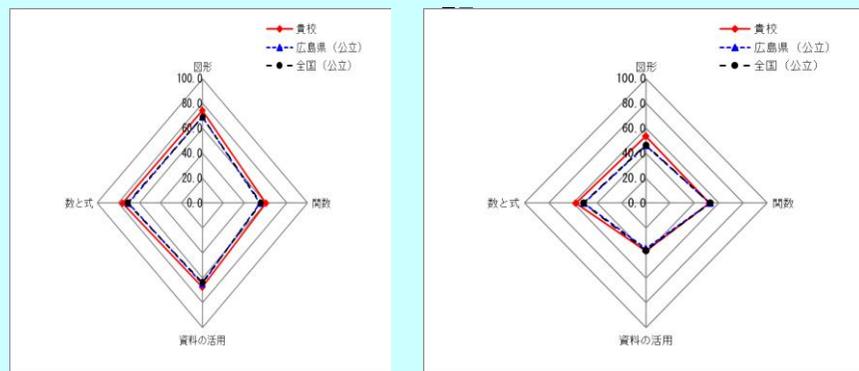
【B問題】

- 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的に応じて要約させる。
- 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを、根拠を明確にして書く学習を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験				1年生 H29「基礎・基本」	1・2年生 学年末テスト
目標値		65.0%				70.0%	70.0%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験				2年生 H30「全国」	1・2年生 学年末テスト
目標値		60.0%				65.0%	70.0%
実施後数値							

「全国学力学習状況調査 本年度通過率 A (本校 71%, 県 66%, 全国 66.1%)
B (本校 50%, 県 46%, 全国 46.9%)

領域別平均通過率



本年度の結果について

A 問題の平均正答率は 71% で、県平均・全国平均と比較して、約 5 ポイントのプラスであり、その内容として、基本的な計算については定着が図られているといえる。しかしながら、正答率が 50% を下回っている設問が 5 つあり、特に証明の必要性と意味について問われているものと、確率の意味について問われているものが低かった。数学的用語の意味の理解に課題がある。

B 問題の平均正答率は 50% で、県平均・全国平均と比較して、4 ポイントのプラスとなっている。A 問題同様、計算問題などの一問一答式の設問に関しては、正答率は高いが、事象を数学的に解釈して、そのことについて数学的用語を用いて説明するような設問に関しては、正答率が 10% を下回っているものもあり、事象を数学的に解釈して、筋道立てて説明する力に課題がある。

重点課題 ◇全国学力・学習状況調査

【A 問題】

「ある試行を多数回繰り返したとき、全体の試行回数に対するある事象の起こる回数の割合は、ある一定の値に近づく」ことを理解している。(D 資料の活用)

【通過率 25.7% 15(1) 数量や図形などについての知識・理解】

【B 問題】

数学的な結果を事象に即して解釈することを通して、成り立つ事柄を判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明することができる。(A 数と式)

【通過率 6.8% 5(2) 数学的な見方や考え方】

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【A 問題】

- 実際に数学的な事象を試行し、実感を伴った理解を深めさせる。
- 事象の結果について予想させてから試行し、その予想と結果を比較検討させる。

【B 問題】

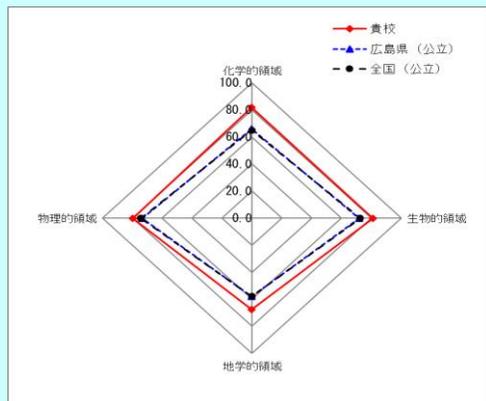
- 具体的な事象の中に数量関係を見出させ、文字を用いた式で表すことを繰り返し練習させる。
- 数学的用語を使うことを徹底させる。また数学的な表現を用いて説明するよう、発問を工夫する。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法						1・2 学年 小テスト	1・2 学年 学年末試験
目標値						30%	50%
実施後数値							

【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法						1・2 学年 小テスト	1・2 学年 学年末試験
目標値						30%	50%
実施後数値							

「全国学力学習状況調査 本年度通過率 (本校 77%, 県 66%, 全国 66.1%)

領域別平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向
 主として「知識」に関する問題についての通過率は84.0%、主として「活用」に関する問題の通過率は72.0%である。いずれも全国平均を大きく超えており、基礎的・基本的な内容については十分定着していると考えられる。一方、学習指導要領の分野においては、地学的領域の通過率のみが70%を下回る67.5%であることから、学習の領域における理解の差が大きいと考えられる。

○昨年度の課題への取組の成果
 昨年度は、「基礎・基本」定着状況調査において、タイプⅡの地学領域の通過率は19.2%であった。モデルや視聴覚教材を使った事象の再現を通して、分析・解釈を積み重ねる学習活動を行ったことによる成果があらわれたと考えられる。

重点課題 ◇全国学力・学習状況調査

【課題1】

風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる。
 【通過率 48.6% [3](1) 主として活用に関する問題】

【課題2】

植物を入れた容器の中の湿度が高くなる、蒸散以外の原因を指摘することができないなど、「原因として考えられる要因」を全て指摘することができない。
 【通過率 36.1% [9](2) 主として活用に関する問題】

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

広域の気象情報と観測者が捉える気象現象とを関連付け、空間と方位、時間の観点から気象現象を考えたり説明したりする学習場面を設定する。その際、上空から地上への視点移動を促すために、天気図に人形を置くなど、観測地点の気象現象を空間的に捉えられるようにする。

【課題2】

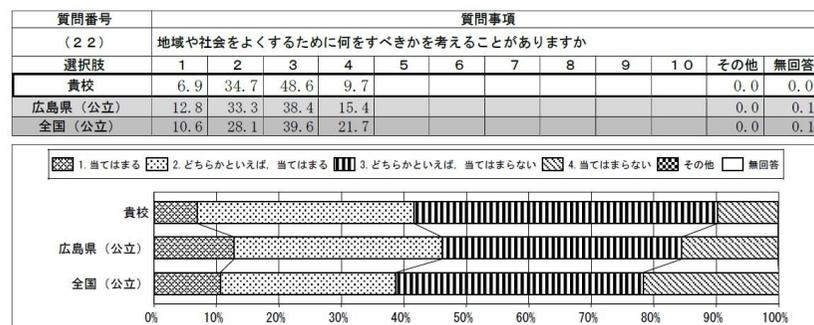
「変化すること (従属変数)」と「原因として考えられる要因」を全て挙げ、それらの妥当性を検討させる。次にそれらの要因を「変える条件 (独立変数)」と「変えない条件」とに整理して実験を計画する学習場面を設定する。その際、他の分野や領域で身につけた知識・技能も活用させる、多面的な視点に立って考えさせる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法						2学年 単元テスト	2学年 学年末試験
目標値						60%	70%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1・2学年 期末試験			1・2学年 単元テスト	1・2学年 期末試験
目標値			50%			60%	70%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

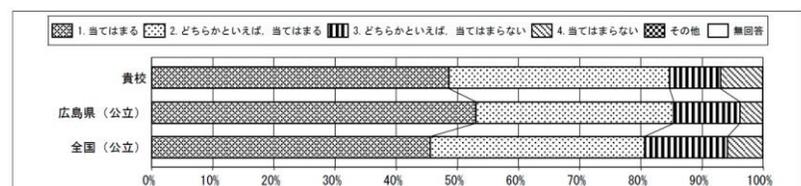
(1) 生活・学習



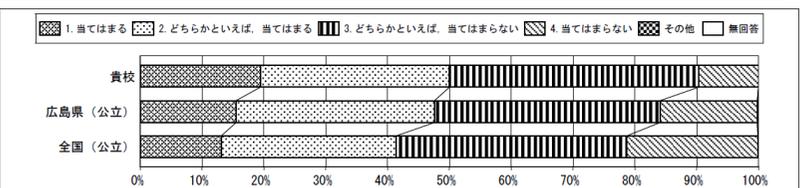
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
当てはまる：6.9% どちらかといえば、よく当てはまる：34.7% どちらかといえば、当てはまらない：48.6% 当てはまらない：9.7%	・地域や社会について、知る機会を設定する。 ・授業で、地域や社会に関する新聞記事などを活用する。	全	肯定的評価 50%	生徒アンケート	1月		

(2) 教科

数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。



理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	質問事項なし							
数学	当てはまる：48.6, どちらかといえば当てはまる：36.1% どちらかといえば当てはまらない：8.3%, 当てはまらない：6.9%	・板書の構造化により、視覚的に理解させる。 ・ヒントやポイントの板書で数学的用語を用いる。 ・ノートに振り返りを書かせる。	全	肯定的回答 90%	生徒アンケート	1月		
理科	当てはまる：19.4%, どちらかといえば当てはまる：30.6% どちらかといえば当てはまらない：40.3%, 当てはまらない 9.7%	・考えるポイントを明確にし、個人で考える時間を十分に確保する。 ・派遣方式で説明させるなど、他者に説明する場面を多く設定する。	全	70%	生徒アンケート	1月		